

2025年4月6日
4月第一主日礼拝式/聖餐式



「主の喜びが心にあれば」

(詩篇31:11)

主の喜びが 心にあれば

主の喜びが 心にあれば

悲しみは 笑いに

苦しみは 喜びに

嘆(なげ)きは 踊(おど)りに

すぐにかわる

142 主の愛はとこしえまで

主の愛はとこしえまで

その恵みは尽きず

朝ごとにくる 新しい

あなたのまことは 力強い

新聖歌201番 「イエスはわがいのち」

- 1 イエスはわがいのち また喜び すべてののすべてぞ
われにとりて 悲しめるときは なぐさめ励ます
世(よ)にただ ひとりの友ぞ
 - 2 イエスは火のごとき ころみにも 勝たせて恵みを
さらにたまう 日々なすわざをば 祝して実りを
豊かにしたもう 友ぞ
 - 3 イエスはかくわれに まことなるを 忘れまつる日の
などあるべき みむねをかしこみ みわざを励みて
日も夜(よ)も したがい つかえん
 - 4 イエスは誰(たれ)よりも まさる友ぞ よに生きるかぎり
われはたよらん よを去りてのちも とこしなえまでも
変わらぬ愛もて たよらん
- アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌233番 「驚くばかりの」

- 1 おどろくばかりの 恵みなりき
この身の汚(けが)れを 知れるわれに
- 2 恵みはわが身の 恐れを消し
任(まか)する心を 起こさせたり
- 3 危険(きけん)をも わなをも 避(さ)け得(え)たるは
恵みのみわざと 言(ゆ)うほかなし
- 4 御国(みくに)に着く朝 いよいよ高く
恵みの御神(みかみ)を たたえまつらん

アーメン

新聖歌359番 「罪深きこの身を」

1 罪深きこの身を 愛して
イエスは木に掛(か)かられ いのち捨てぬ
なんたる愛ぞ！ 愛ぞ！
涙に ただむせびて イエスを 見るほかなし

* 救いはこの身に 成就(じょうじゅ)しぬ
われ いかで疑(うたが)わん 主のみわざを

2 われ 滅(ほろ)びの中に ありしを
主はさがし求めぬ 長き月日(つきひ)
今やわれの罪は 跡(あと)なく
主の血にて洗われ きよくなれり * (くりかえし)

【次】

新聖歌359番 「罪深きこの身を」

3 今 心にあるは 安(やす)きと
主に献(ささ)ぐる感謝の きよきしらべ
われ いかで再び かいらくを
愛して 主の御許(みもと)を 去り行くべき

* 救いはこの身に 成就(じょうじゅ)しぬ
われ いかで疑(うたが)わん 主のみわざを

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン